

2022 年度 フードバンク八王子活動報告 —皆さまのご協力に感謝申し上げます—



フードバンク八王子は、「八王子に食のセーフティーネットを！」をスローガンに、誰もが食に不安なく過ごせるまちを目指して活動しています。

2022 年度もコロナ禍の収束がなかなか見えない中、こども食堂の活動をもっと広げたい！とオクトーレこども食堂の活動を中心に、食品配送プロジェクト、イベントなどを実施しました。コロナ禍の中で「繋がり」がとても大切だと改めて実感し、「こどもたち、こども食堂を中心に、人と人との繋がりの中で、こどもたちが笑顔で育つまち」のために活動をしてまいりました。

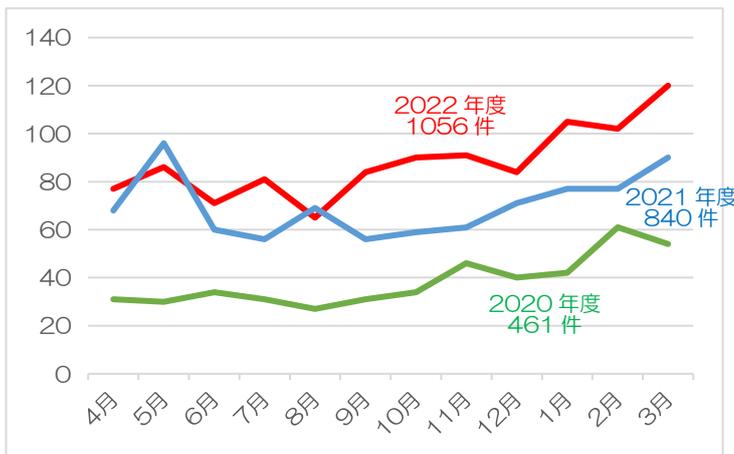
皆さまのご支援とご協力に感謝申し上げ、活動のご報告をさせていただきます。

パントリー

フードバンク八王子では毎月2回のパントリー（食料配布）を行い、何らかの理由で食に困っていらっしゃる方に食品を提供しています。コロナ禍以降利用者は増え続け、最近では毎回 50~60 件の利用があります。2022 年度は延べで 1,056 件の利用がありました。フードバンク八王子では八王子市自立支援課と連携をし、その紹介で来られる方と、ホームページなどで知って直接来られる方が半々の割合です。直接来られた方には自立支援課を紹介し、行っていただくようにしています。フードバンクは食品を提供するのみ、専門知識をもった行政と連携をすることで、その方の自立に繋がりたいと思っています。

長引くコロナ禍、物価高の影響が大きく、シングルマザーや学生を含む若い方の利用が増えています。また、生活保護世帯の利用が増えていること、利用回数は6回を上限としていますが、それ以上利用される方が増えていることが課題と感じています。

パントリーで配布する食品は、セカンドハーベストジャパン様からのご提供を中心に、八王子市様、ファミリーマート様、八王子オーパ様、多摩養育園様などが実施されているフードドライブを通して市民の皆さまからご寄付いただいた食品などを使わせていただいています。



こども食堂への食品提供

コロナ禍も3年目となり、「やっぱりこどもたちの居場所を守りたい」という皆の想いが少しずつ再開へ繋がり、32 か所中 23 か所が食堂を開催しています（2023 年3月現在）。まだ再開していない食堂も食料配布、お弁当配布を実施しています。

こども食堂への食品提供は、開催日に合わせて、食堂開催用、配布用など、必要な食材を提供しています。パルシステム東京様や東京都農林水産振興財団 東京農業アカデミー様、吉野家様などは、直接食堂が受取りに伺うという繋ぎ方もしています。

全国こども食堂支援センターむすびえ様からの情報を通して、多くの企業様から食品、お菓子、牛乳などを寄付していただき、活動を支える大きな力となっています。

その他たくさんの市民、企業、団体の皆さまからのご寄付をお預かりし、こども食堂を通して、一人でも多くのこどもたちの笑顔に繋がるように提供をしています。

オクトーレこども食堂

2022 年度一番大きな活動は JR 八王子駅前の商業ビルオクトーレ様の空き店舗をお借りして「オクトーレこども食堂」を実施したことです。6月5日のオープニングイベントに始まり、8回のチャレンジこども食堂、3回のコラボこども食堂、5回のこども食堂のつくり方講座、2回のこども食堂研修、トークイベント、12月25日クロージングイベントクリスマス会を実施しました。こども食堂、各種イベント参加者、こども食堂開催側スタッフ、ボランティアなど、総勢で約 1,000 名近くの方が参加してくださいました。

多くの方で賑わう商業ビルを使うことで、これまでこども食堂を知らなかった人に PR し、参加し、知ってもらい、

関わる人を増やすことで、結果的にこども食堂を増やすことを目的としました。全国的にも珍しい取組みとして注目され、NHK 初め多くのマスコミにも取り上げていただきました。こども食堂初体験の方も多く参加し、また、見学の方も多く、皆さまに知っていただくことができ、とても良い経験となりました。

こども食堂のつくり方講座、チャレンジこども食堂からは 5 つのこども食堂が誕生しました。(2 つは既にオープン、3 つは春にオープン、そのうち 1 つは日野市)

八王子オクトーレ様のご協力と全国こども食堂支援センターむすびえ様の助成金「2021 年度むすびえ・こども食堂基金助成事業(冬募集)」のおかげでこの大きな取組みができました。



はちおうじっ子のコロナに負けるな！応援プロジェクト

2022 年度は 3 月に 1 回のみ実施しました。154 世帯、290 人のこどもたち(15 才以下のみ)にお届けすることができました。

末日聖徒イエス・キリスト教会様、そしてたくさんの市民の皆さまからお預かりした食品を使わせていただき、皆さまのこどもたちを応援するあたたかいお気持ちと一緒にお届けしました。



様々なご支援の拡がり

コロナ禍が始まって以来、多くの方がこども食堂やフードバンクに関心を寄せてくださり、たくさんのご支援をいただき、私達の活動を支えてくださっています。2022 年度は延 597 件のご寄付をいただきました。

セカンドハーベストジャパン様、八王子市仏教会様、パルシステム東京様、公益財団法人東京都農林水産振興財団様、イケア立川様、ヤクルト本社様、HARE/PAN 八王子店様、Lepin 喜代志様、ハウスクリニック様、RISE 様、西友建設様、吉野家様、サヴァンシア フロマーージュ&デイリージャパン株式会社様、ノースブックセンター様、アクト様、ファミリーマート様、八王子オーパ様、長房町会様、八王子市ごみ減量課様、防災課様、多摩養育園様などの企業団体の皆さま、市民の皆さまからも継続して、定期的にご寄付をいただいていることは本当に嬉しく、私たちの励みになっています。こうした長いお付き合いを大事にしていくと共に、新たなお声かけにも積極的に対応するよう心がけております。昨年秋に、JR 東日本様のご協力で八王子駅でフードドライブを実施し、多くの方に活動を知っていただく機会を得ることができましたのも一例です。

また多摩少年院様とはお野菜だけでなく、在院生がこども食堂の環境整備のお手伝いもして下さるようになり、食品から始まった繋がりが広がっています。これからの繋がり方のヒントともなりました。

2023 年度の活動

増え続けるパントリー利用者への対応、食品の確保は課題となっています。こども食堂へは食品提供とともに、コロナ禍後、スムーズに食堂の運営ができるよう支援をしてまいります。

今年度は内閣官房の「地域における孤独・孤立対策に関する NPO 等の取組モデル調査モデル事業」を受け、プラットフォームの形成に取り組んでまいります。

ぜひ皆さまのご支援、ご協力を、引き続き賜りますようよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人フードバンク八王子

住所：〒192-0085 八王子市中町 2-9 ランメンビル 3F

042-649-1769 info@foodbank8.tokyo

